

伝えよう つながろう 夢に向かって

NO.6 (2023.12.1)

第3回学校運営協議会

11月29日、令和5年度第3回学校運営協議会を開催しました。今回のテーマは、「浜田ろう学校の価値を高めるための取組～令和6年度浜ろうフェスティバルの企画を通して～」です。6名の委員の皆様とともに、本校高等部3年の生徒も参加し、意見交換をしました。

□11月29日Instagramより（馬場地域協働推進員作成 ※一部省略）

地域の学校運営協議委員、PTA、教育委員会、島根県ろうあ連盟、教員、様々な方とそれぞれの立場で、何ができるのかということなど協議しました。

ろう学校の学校運営協議会は、今年度から生徒も参加しています。

近年、なかなか子どもたちが大人に自分の本音を話したり思いを表現できたりする場がないという話もありますが、ろう学校では、先生と子どもの距離がいい意味で近いということがあります。今回も高等部の生徒が大人に混ざり学校運営に関わる思いをしっかりと伝えその思いに大人が耳を傾けておりました。ろう学校のよさとして、耳を傾けて終わりというわけではなく、それを受けて学校運営を実際にしていきます。今回の協議を受けてどのような取り組みをしていくのか今後ご注目いただける幸いです！

よろしくお願いいたします。



□意見交換

- ・誰に発信しているのか、だれに見てもらいたいのか、だれの満足度を上げようとしているのかが曖昧である。
- ・SNSでの情報発信が事後報告に終始している。マラソン大会等に地域に来てほしいのなら事前周知を考えるべきである。
- ・ろう学校としてなぜ地域と繋がりたいのか、地域と繋がることで何を生み出したいのか整理する必要がある。
- ・信頼関係がないと繋がることも理解を広げていくことも難しいです。ろう者抜きで決められていくことは困ります。
- ・「わくわく」をキーワードに生徒、卒業生、保護者、地域、県大生との交流を考えていけるとよいです。

等のご意見をいただきました。生徒からは、

「Instagramは大きな行事だけでなく、日常のことを投稿したほうが良いです」

「県大生とは年齢が近いのでかかわりができるとよいです。体育の授業（タグラグビー）に来てもらって対戦をしたいですし、浜ろうフェスティバルの企画を教員とではなく県大生と中高部と一緒に考えてもよいと思います」などの意見や

「普段は学校の先生と話すことが多いですけど、学校外の例えば郵便局の方など、違う人たちから貴重な意見も自分の視野が広がるような意見もたくさん聞けたので、2月もぜひ参加したいと思います。」と感想を述べました。

